



Title	大阪大学歯学雑誌 第64巻1号 目次
Author(s)	
Citation	大阪大学歯学雑誌. 2019, 64(1)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/77393
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大阪大学歯学雑誌

The Journal of Osaka University Dental Society

October 2019 Vol.**64** No.**1**

大阪大学歯学会

The Osaka University Dental Society
OSAKA JAPAN

大阪大学歯学雑誌

Vol. 64 No. 1

Contents

規定

2019年度 大阪大学歯学会 優秀研究奨励賞 規定

2019年度 大阪大学歯学会 優秀海外発表大学院生奨励賞 公募要項

総説

- 「歯科医師が行う口腔がん治療とは？」—— 鵜澤成一 1
- Streptococcus pneumoniae* のコリン結合タンパク質が感染成立に果たす役割 — 後藤花奈（他2名） 5
- 組織再生誘導能を備えた FGF-2 担持ポリマー粒子配合レジンセメントの開発 — 壺井莉理子（他2名） 9

原著

- 線維芽細胞に存在する炎症増幅回路の活性化分子 Hmgcs1 の解析 — 板東秀典 13

症例報告

- 上顎両側側切歯および上顎両側第二小臼歯先天性欠如症例の
矯正治療に自家歯牙移植を応用した一治験例 — 月星千恵（他2名） 21

Information

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 会務報告 ————— 27 | 教室研究紹介 |
| 大阪大学歯学会会則 ————— 33 | 大阪大学歯学部附属病院 |
| デジタルデータ出稿の詳細 ————— 36 | 検査部（臨床口腔検査学） ————— 39 |
| 引用文献の表記ルール ————— 36 | |
| 歯学会雑誌原稿投稿時のセルフチェックシート — 37 | |
| 誓約書 ————— 38 | |

表紙のことば

ヒト歯髄幹細胞のみで作製したスキャフォールドフリーの細胞集合体（左図）を象牙芽細胞に分化誘導することで、象牙質シアロリントタンパク質（右図緑）が発現します。さらに、この細胞集合体は、無髄歯根管内で歯髄再生能を発揮することが分かっています。当教室では、ヒト歯髄幹細胞で作製した人工歯髄様組織を用いた新たな歯髄再生療法の開発を行っています。

（歯科理工学教室）

規 定

2019 年度 大阪大学歯学会 優秀研究奨励賞 規定

2019 年度 大阪大学歯学会 優秀海外発表大学院生奨励賞 公募要項

総 説

アタッチメントが上顎インプラントオーバーデンチャーの
インプラントに及ぼす影響

—ボール, ロケーター, マグネットアタッチメントにおける比較— ————— 高 橋 利 士 (他 3 名) 1

In vitro 実験と数理科学の融合に基づく修復材料の高性能化の試み ————— 山 口 哲 7

症例報告

下顎深在性埋伏智歯に対して第二大臼歯の

意図的再植術を併用した抜去術の 2 例 ————— 藤 田 祐 生 (他 5 名) 11

Information

会務報告 ————— 17

大阪大学歯学会会則 ————— 23

デジタルデータ出稿の詳細 ————— 26

引用文献の表記ルール ————— 26

歯学会雑誌原稿投稿時のセルフチェックシート — 27

誓 約 書 ————— 28

教室研究紹介

大阪大学歯学部附属病院

口腔総合診療部 (顎口腔総合医療学) ————— 29